

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年2月20日(2020.2.20)

【公表番号】特表2018-524397(P2018-524397A)

【公表日】平成30年8月30日(2018.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2018-033

【出願番号】特願2018-513912(P2018-513912)

【国際特許分類】

C 07 D	213/53	(2006.01)
A 01 N	33/12	(2006.01)
A 01 P	3/00	(2006.01)
A 61 K	31/444	(2006.01)
A 61 K	31/785	(2006.01)
A 61 K	31/787	(2006.01)
A 61 P	31/10	(2006.01)
A 61 P	31/04	(2006.01)
A 61 P	27/02	(2006.01)
A 61 K	8/49	(2006.01)
A 61 K	8/84	(2006.01)
A 61 Q	17/00	(2006.01)
C 08 G	73/00	(2006.01)
C 08 L	79/00	(2006.01)
C 07 D	211/26	(2006.01)

【F I】

C 07 D	213/53	C S P
A 01 N	33/12	
A 01 P	3/00	
A 61 K	31/444	
A 61 K	31/785	
A 61 K	31/787	
A 61 P	31/10	
A 61 P	31/04	
A 61 P	27/02	
A 61 K	8/49	
A 61 K	8/84	
A 61 Q	17/00	
C 08 G	73/00	
C 08 L	79/00	Z
C 07 D	211/26	

【誤訳訂正書】

【提出日】令和2年1月7日(2020.1.7)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項1

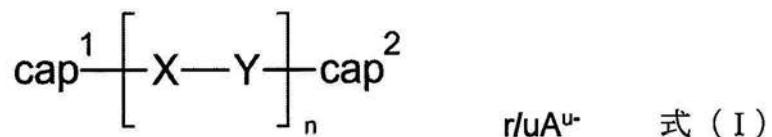
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項1】

下記式(I)で表される陽イオン性化合物。

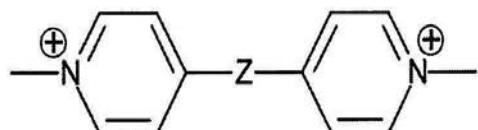
【化1】



〔式(I)中、

a) Xは

【化2】



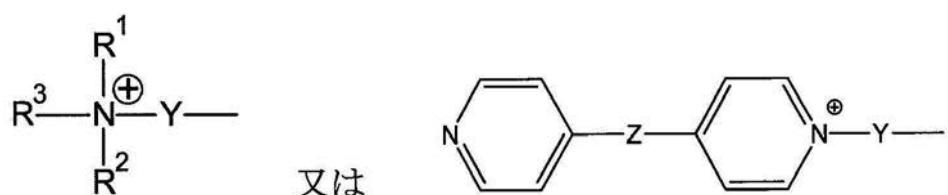
であり、

YはC4-C6のアルケニレンであり、

ZはC1-C6のアルキレンであり、

cap1は

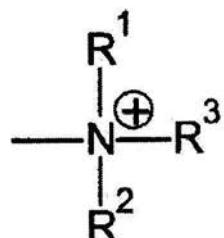
【化3】



であり、

cap2は

【化4】



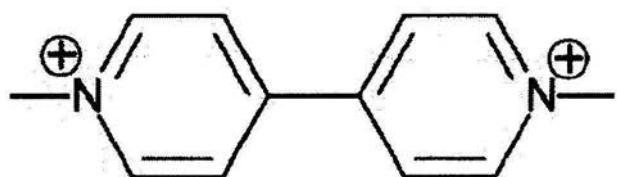
であり、

ここで、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>及びR<sup>3</sup>は、互いに独立して、C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>のアルキルもしくはC<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>のヒドロキシアルキルであるか、又は、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>及びR<sup>3</sup>のうちの1つは、C<sub>8</sub>-C<sub>18</sub>のアルキルであり、他の2つは、互いに独立して、C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>のアルキルもしくはC<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>のヒドロキシアルキルであり、

nは1~250であり、

b) Xは

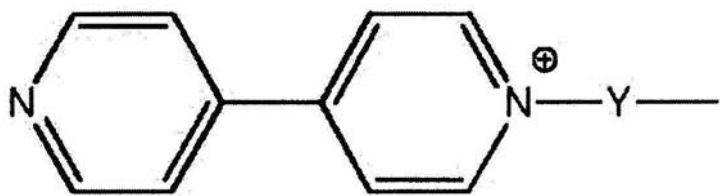
【化5】



であり、

 $\text{Y}$ は $\text{C}_2 - \text{C}_6$ のアルキレンであり、 $\frac{\text{c a p}^1}{\text{c a p}^1}$ は

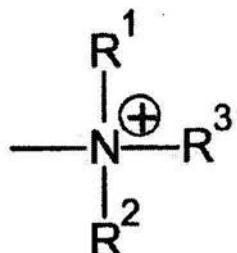
【化6】



であり、

 $\text{c a p}^2$ は

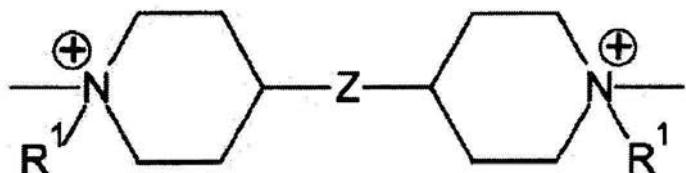
【化7】



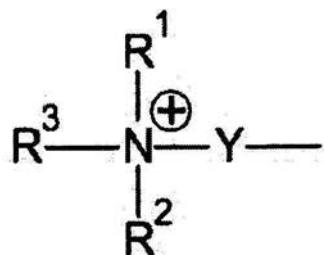
であり、

 $\text{R}^1$ 及び $\text{R}^2$ は、互いに独立して、 $\text{C}_1 - \text{C}_6$ のアルキルであり、 $\text{R}^3$ は、 $\text{C}_8 - \text{C}_{18}$ のアルキルであり、 $n$ は $0 \sim 20$  ( $n = 0$ の場合、式(1)で表される陽イオン性化合物中に繰り返し単位  
[ $\text{X} - \text{Y}$ ]は存在せず、 $\text{c a p}^1$ と $\text{c a p}^2$ は単結合で結ばれる)であり、c)  $\text{X}$ は

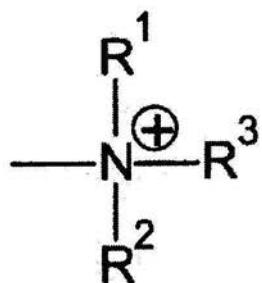
【化8】

 $\text{Y}$ は $\text{C}_4 - \text{C}_6$ のアルキレンであり、 $\text{Z}$ は $\text{C}_1 - \text{C}_3$ のアルキレンであり、 $\frac{\text{c a p}^1}{\text{c a p}^1}$ は

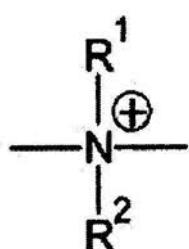
【化9】



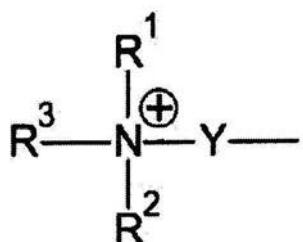
であり、  
c a p<sup>2</sup> は  
【化10】



であり、  
ここで、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup> 及び R<sup>3</sup> は、互いに独立して、C<sub>1</sub> - C<sub>6</sub> のアルキルであり、n  
は 10 ~ 150 であり、  
d) X は  
【化11】

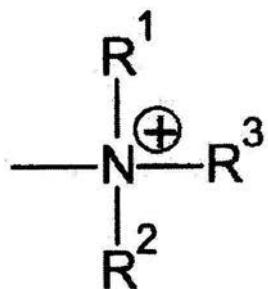


であり、  
Y は C<sub>2</sub> - C<sub>6</sub> のアルキレンであり、  
c a p<sup>1</sup> は  
【化12】



であり、  
c a p<sup>2</sup> は

## 【化13】



であり、

ここで、R<sup>1</sup> 及び R<sup>2</sup> は、互いに独立して、C<sub>1</sub> - C<sub>6</sub> のアルキルであり、

R<sup>3</sup> は、C<sub>9</sub> - C<sub>18</sub> のアルキルであり、

n は 10 ~ 500 であり、

A は陰イオンであり、

u は陰イオンのイオン価であり、

r は当該化合物における陽電荷数である。】

## 【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0019

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0019】

であり、

Y は C<sub>2</sub> - C<sub>6</sub> のアルキレンであり、又は、

X - Y は単結合であり、

c a p<sup>1</sup> は